

こどもたちが運営するまち「とさっ子タウン 2026」企画書

1. 概要

事業名称	こどもたちが運営するまち「とさっ子タウン 2026」 (第 15 回)		
開催日時	2026 年 8 月 15 日 (土) ・ 16 日 (日) 11:00~17:00 (2 日目 16:00)		
開催場所	高知市文化プラザかるぽーと 2、7、9、10、11 階、 2 階大・小ホール		
対象者	小学校 4 年生～中学校 3 年生		
参加条件	2 日間継続参加できる方 ※保護者の入場は不可		
参加人数	500 名 (応募多数の場合は抽選)		
運営スタッフ等	① とさっ子タウン実行委員	約 70 名	} 合計 約 370 名
	② 当日ボランティアスタッフ	約 100 名	
	③ 専門家スタッフ	約 200 名	
	※協力企業・行政・団体・個人	約 70 社	} 合計 約 120 社
④ 協賛金・物品協力	約 50 社		
主催	「とさっ子タウン 2026」実行委員会 高知市市民活動サポートセンター、認定特定非営利活動法人 NPO 高知市民会議、公益財団法人高知市文化振興事業団、高知市文化プラザ共同企業体		
後援(予定)	高知県、高知県教育委員会、高知市教育委員会、高知市民憲章推進協議会 高知大学、高知県立大学、高知工科大学、高知学園大学、高知学園短期大学 高知健康科学大学、高知リハビリテーション専門職大学、学校法人龍馬学園		
運営事務局	高知市市民活動サポートセンター 電話：088-820-1540 メール：tosacco@kochi-saposen.net		

2. 開催趣旨

こども同士のコミュニケーションの場や生まれ育った地域に対する誇りを持てるような「きっかけ」をつくることを目的に、こどもが運営するまち「とさっ子タウン 2026」を企画。
「こどものチカラを信じよう！」を合い言葉に次のねらいを掲げて、取り組む。

- ① 高知ならではの仕事・文化・遊びを楽しく体験できる場
- ② 社会のしくみを知ってもらう場
- ③ こども同士・異年齢間のコミュニケーションが生まれる場にする

将来、社会の中核を担うこどもたちに、「とさっ子タウン」での様々な実体験から、社会のしくみを知るきっかけづくりをめざす。また、こうしたプロセスを通して、こどもたちが協力し合いながら、自分たちがまちをつくることができ、変えることができるということを体験してもらう。そして、現実の「まちの運営」「社会のしくみ」に関心を持ってもらうことにつながることを期待したい。

3. 具体的な内容

「とさっ子タウン」では、60種以上の職業から仕事を選び、各専門家（企業・行政・団体等）から教わり体験する。他にも様々な社会の仕組みを2日間通して体験しながらまちを運営する。とさっ子タウン市民になるとできることや基本的な流れは、次の通り。

①	仕事を選ぶ	ハローワークでやりたい仕事（求人票）を選ぶ
②	仕事をする	選んだ仕事場へ行き、一定時間仕事をする
③	給料を貰う	仕事が終われば銀行で給料（トス）を貰う ※トス=とさっ子タウンの通貨
④	税金を納める	税務署で税金を支払う ※税率 25%（所得税）
⑤	お金を使う	まちの中にある商店街やアカデミー、遊び場などで お金を使うことができる
⑥	預金する	銀行にお金を預ける
⑦	お店を作る	一定時間の就労経験を積み、資金を貯めることで起 業することができる
⑧	選挙をする	まちの代表を決める市長選挙や議員選挙を実施する
⑨	まちを運営する	まちの課題点等を議会で話し合い解決策を講じたり、 まちを盛り上げるイベントを開催したり、こども たちがまちを運営する



多くのとさっ子タウン市民が①～④を繰り返し行う。①～⑧の体験の中から生まれてくる課題点やアイデアをまちの運営（⑨）を通して取り組み、こどもたちが「とさっ子タウン」を自由に創り上げていく。

4. 会場

昨年度（2025年度）より、高知市文化プラザ「かるぽーと」を全館利用し開催。2階四国銀行ホール（大ホール）及び2階龍馬学園イベントホール（小ホール）、7階 BILBO ギャラリー（市民ギャラリー）、9～11階中央公民館を活用する。四国銀行ホール（大ホール）では、受付後の待機及びガイダンス視聴、入場前説明を行い、「とさっ子タウン」のまち並みは7階、9～11階フロアにて展開する。

▼高知市文化プラザ「かるぽーと」

